

# 「世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人」を目指して スタディ・ホーム

～これからの時代を生き抜く  
子どもたちをはぐくむために～

「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果より

児童生徒  
保護者向けリーフレット

「令和3年度全国学力・学習状況調査」（令和3年5月27日実施）のさいたま市の結果について、お知らせします。  
ご家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

社会が大きく変化する中で、どのような学力が必要なのかな？



どのように学習をすればよいのかな？



どのような学力が必要なのか

## ○【全国学力・学習状況調査】の活用

調査問題は、今まで学習した内容のうち、  
十分に身に付けてほしい内容を出題しています。

全国学力・学習状況調査の算数の調査問題（類似）で  
確認してみましょう。

どのように学習をすればよいのか

○学習方法のポイントが分かります。

裏面へ

キーワードは「興味や疑問」を大切にすること。

例 小学校 算数 (中学生も一緒に考えてみましょう。)

けんじさんたちは、博物館から駅までの道のりと時間をインターネットで調べました。

さおりさん：博物館から駅まで1500mで、20分かかかるようだよ。

けんじさん：私たちは1500mを約何分で歩けるのかな。

私たちは、400mを歩くのに、6分かかります。



	道のり (m)	時間 (分)
①インターネット	1500	20
②けんじさんたち	400	6



どうしたら、解決できるのかな。

式にしてみたらどうかな。



どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

①インターネット  $1500 \div 20 = 75$

②けんじさんたち  $400 \div 6 = 66.6 \dots$

①②の計算からどのようなことがわかりますか。

式にすることで、日常生活の場面を算数の舞台にのせることができます。

下の1から4までの中から正しいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1分間あたりに進む道のりは75mと約67mなので、①のほうが速い。
- 2 1分間あたりに進む道のりは75mと約67mなので、②のほうが速い。
- 3 1mあたりにかかる時間は75分と約67分なので、①のほうが速い。
- 4 1mあたりにかかる時間は75分と約67分なので、②のほうが速い。

速さを求めるだけではなく、複数の速さを比べる場面を設定し、「どちらが速いですか。」や「どうして速いと分かるのですか。」などの問いが大切です。

☆日常生活の問題を解決する場面☆  
このように、興味をもったこと、疑問に思ったことを、実際に解決する中で、知識の理解の質が更に高まります。

※上記の調査問題(類似問題)の正答は、「1」です。

「5年生までに[1・2年生のときに]受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」と「平均正答率」のクロス集計

※平均正答率とは、国語と算数・数学の2教科の児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

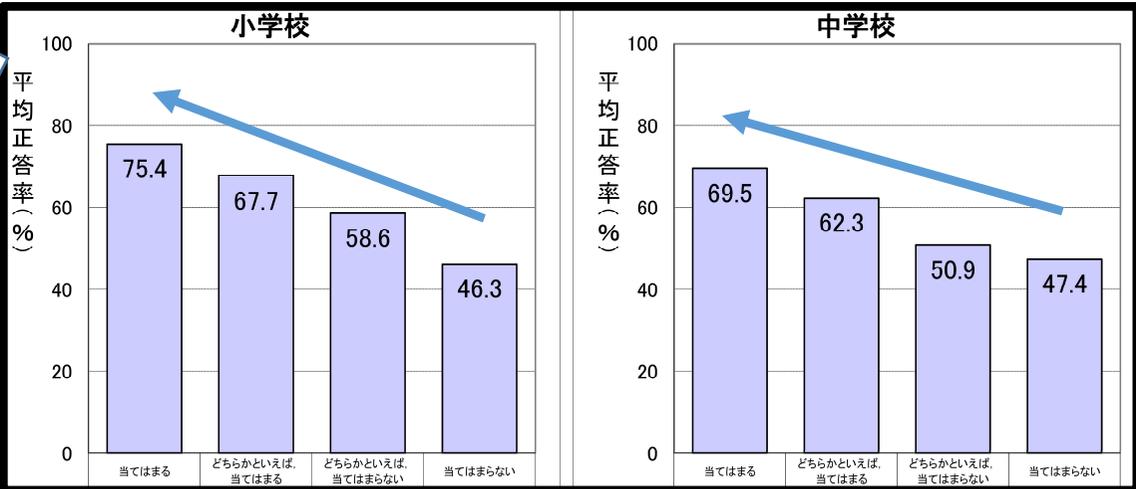
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童生徒ほど平均正答率が高い傾向に!

日常生活の中で興味をもったことや疑問に思うことを解決するような学びが大切です。

上記のような調査問題が、全国学力・学習状況調査で出題されています。実際に調査問題を見たり、どのような調査結果になっているのかを知りたい方は、国立教育政策研究所のWebページをご覧ください。過去の調査問題等も掲載しております。

また、さいたま市では、独自の調査である「さいたま市学習状況調査」を実施しております。子どもたちの学習や生活状況について、継続的かつ多面的に把握・分析でき、よりよい学習習慣や生活習慣の確立のために行っております。

全国学力・学習状況調査のさいたま市の結果やさいたま市学習状況調査の結果については、さいたま市立教育研究所のWebページに掲載しております。併せて、ご覧ください。



全国の調査結果

国立教育政策研究所 検索



さいたま市の調査結果

さいたま市立教育研究所 検索